

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農工商連携	○	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		あべ しんいち				
氏名		阿部 眞一				
所属	名称	岩村田本町商店街振興組合				
	役職	代表理事				
連絡	住所	(公開)	〒 385-0022			
			長野県佐久市岩村田 749 番地			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail abe[アットマーク]izumiya-saku.co.jp			
		(公開)	TEL 0267-68-5000	FAX 0267-68-2935		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		<p>平成8年大型店出店に伴う商店街への影響に危機感を持ち、当時の青年会を組織して、若手中心の商店街振興組合を立ち上げ世代交代を成し遂げた。以後、アーケードの改築、商店街活性化のための様々なビッグイベントを仕掛けたが、商店街を存続させる為には揺るぎない理念をもとにした集客を計れるスキームの確立が必要と考え、後継者養成塾にて専門家の指導を仰ぎ、地域密着顧客創造型商店街を目指し「地域の皆様と、共に生きる、働く、暮らす」という商店街の活性化理念を構築。商店街を経営するという観点で組織運営を計る。</p> <p>以後、この理念に基づく様々な活性化策を具現化し、大手商業施設の進出もあって著しい衰退に陥った商店街を生き返らせるべく、強力なリーダーシップをもって、株式会社にも擬される商店街組織を駆使して奮闘している。</p> <p>以後、この理念に基づく様々な活性化策を具現化し、大手商業施設の進出もあって著しい衰退に陥った商店街を生き返らせるべく、強力なリーダーシップをもって、株式会社にも擬される商店街組織を駆使して奮闘している。</p>				
著作・論文等		-				
取組概要		<p>空き店舗対策として、様々な事業を実践している。アントレプレナーを育成する「本町手仕事村」コミュニティビジネスのモデルとされる、商店街直営の惣菜店「本町おかず市場」子育て支援事業から生まれた、商店街直営の学習塾「岩村田寺子屋塾」、短時間託児や子育てサロンの拠点「子育てお助け村」さらには商学連携の「高校生チャレンジショップ」地域ブランド創生の「三月九日青春食堂」など、直営12事業を1理事1事業制を敷いて人材育成を展開。大型集積のイオンとは顧客の視点から共存共栄を図ることに転換、電子マネー「佐久っ子ワオンカード」を基軸に連携。全国的にも注目され協力体制をとる。今後はさらに地域コミュニティの担い手としての商店街のあり方を目指して、中小企業庁「ちいさな企業成長本部」などで、今後の「住み良いまちづくりの商店街」のあり方を提言。全国に講演活動の場も広げている。</p>				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

登録期間 令和6年10月1日～令和7年9月30日

メッセージ	住み良いまちづくりのグランドデザインを考えたとき、その地域の歴史、文化、風土、地域資源、地方自治体の考え方、取り組み姿勢などにより変化してまいります。そこで商いをさせて頂いている地域商店街は、「地域住民の生活に役立つ物販・サービス提供機能」「コミュニティの担い手・維持・再生機能」「賑わいの創出・誘客機能」があります。特に地域コミュニティの担い手という役割と、店舗の商いととのバランスが大切であり、この感覚を持った組織経営が必要になってくると同時に、何よりもその基礎となる若手の人材育成が課題になってまいります。		
関連ホームページ		活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。